



仕 様	
種類 / 型式	合併処理 / HCZ-35 (D)
処 理 方 法	担体流動循環方式
処理対象人員	35 人
一人当り汚水量	0.2 m ³ / 人・日
計画汚水量	7.0 m ³ / 日
流入水BOD濃度	200 mg / L
放流水BOD濃度	20 mg / L
除 去 率	90 %以上
流入水COD濃度	100 mg / L
放流水COD濃度	30 mg / L
除 去 率	70 %以上
流入水T-N濃度	45 mg / L
放流水T-N濃度	20 mg / L
除 去 率	56 %以上
流入水SS濃度	160 mg / L
放流水SS濃度	15 mg / L
除 去 率	91 %以上
有 効 容 量 m ³	
夾雑物除去槽	3.940
嫌気ろ床槽	3.951
担体流動槽	1.804
沈 殿 槽	0.737
消 毒 槽	0.078
放流ポンプ槽	0.131
電 気 機 器 仕 様	
送風機	250L / 分 (0.02MPa) 100V, 210 / 240W, 1台
放流ポンプ	80L / 分 × 5m × 0.15kW × 2台 フロースイッチ付 (内蔵)

特記事項		
使用材料	コンクリート	FC=21-18 (15) -20 (25) 但し、捨てコン・無筋コンクリートは FC=18N/mm ²
	鉄筋	SD295A (規格品) 特記なき事項はJASS5による。
配筋事項	継ぎ手・定着長さ	全て40dとする
*砕石厚サの条件 (本図は砕石100mmとする)		
地盤	土質 岩盤・土丹	砂礫・砂
	N 値	N < 10 N ≥ 10
地業 (砕石)	種 別	地はだ 砂利 砂利 砂利
	厚さ (mm)	100 100 60 150 60
地耐力	必要地耐力	50kN / m ² (想定)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 積雪1m以下の場所に設置して下さい。 浄化槽の重量に耐える地盤に設置して下さい。 地下水位に応じて浮上防止をして下さい。 流入管底を越える湧水が想定される場合は、基礎スラブの長さ、幅を各200mmずつ広げて施工して下さい。 カサ上げは300mmを超えないようにして下さい。 製品全高は±10mmの公差があります。 流入放流管底は、製品全高に対して±10mmの公差があります。 ポンプ、フローアースは確実に接地して下さい (D種接地工事) カサ上げ 300 mm 付。 無荷重仕様 	